

令和5年度 ジェンダー平等と多様な性の尊重に関する周知啓発について

資料5-1
男女共同参画及び多様な
性の尊重に関する審議会
令和5年5月26日

1. 令和5年度の啓発の重点的世代（ターゲット）：若年層（ユース）

メリット 啓発のターゲットを絞ることのメリット

- ・問題や課題に応じた対象者を明確にすることで、必要な内容を的確に伝えることができる。
- ・効率的に啓発を行うことができ、方法を選定できる。

目的 啓発活動を通じて「自分ごと」として捉えてもらう。

- ・考えや価値観が固定化する前にジェンダー平等や多様な性に関する知識を持ってもらう。
- ・社会的な問題に対してどのような行動が必要かを自ら考え、行動に移すことができるようになってもらう。

効果 新しいアイデアや価値観を生み出す力があり、柔軟な発想で新しい視点から課題の解決策を発見できる可能性がある。

- ・発信能力に長けているため、自分たちの思いやアイデアを表現することで、より多くの人に届くことが期待できる。
- ・将来、社会のリーダーになるため、ジェンダー視点を持った将来のリーダー育成に繋がる。

内容案

対象	啓発方法等（案）
高校生	第6次プランの周知啓発冊子（イメージ：資料5-4）の企画・編集を協働で行う。
高校生	ワークショップ：テーマに沿ってグループで意見交換を行い、課題解決に必要なアクション（一人ひとりにできること）をまとめる。
大学生	New Waveの企画・編集を協働で行う。 （セクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス/ライツに関する記事）
関東学院大学	法学部において「地方創生特論」の講義を行う。（受講生100名前後）

令和5年度 ジェンダー平等と多様な性の尊重に関する周知啓発について

2. 施策対象による整理

第6次横須賀市男女共同プランで方向づけした施策対象（市役所（市職員）、市民、学校教育、事業者等）ごとに、啓発の取り組みを整理しました。

→施策対象による取り組み内容を整理した資料は、「資料5-2」のとおり

3. 第6次プランの指標数値目標の達成に向けて

令和5年度から第6次横須賀市男女共同プランの計画期間が開始し、既に事業も進行しています。プランの指標数値目標の達成するため、指標数値目標ごとに啓発の取り組みを整理しました。

→指標数値目標ごとに取り組み内容を整理した資料は、「資料5-3」のとおり

4. 審議会へのお願い事項

審議会委員皆様のそれぞれの立場や視点から、より効果的な発信や啓発の取り組み方法、言葉の認知度向上等についてご提案・ご意見をいただき、周知啓発のお力添えをいただきたいと考えています。

周知啓発の取り組みの課題

市が情報発信を行う主な手段として、市ホームページ、New Wave（広報紙/年2回）、リーフレット、Twitter、LINE、講座・セミナーがあります。また、案件により、広報よこすか、市広報掲示板ポスターの手段がありますが、案件数が限られています。その中で、市が発信する情報について、市民に十分に届いておらず、また、興味を持って自分ごととして捉えてもらえていないこと。